

節電へのご協力をよろしくお願いします

滋賀県から「夏の節電クールアクション 2012」が出され、平成 22 年度比で 10% 以上の節電を目標とする取り組みがなされています。

市役所でも、各施設も含めて節電を徹底するため、照明の間引きの他、緑のカーテン等の取り組みを実施しています。また、各施設の節電を後押しするため、クールスポットを 13 か所設置しています。（「広報やす」7 月号をご覧ください）

関西電力から「計画停電についてお知らせ」のはがきが対象のご家庭に送付されています。計画停電についてのお問い合わせは、

▽専用ダイヤル（通話料無料）☎ 0120 - 911 - 777

受付時間／月曜～金曜日 9:00～20:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:30

▽ファクス 0120 - 911 - 011

受付時間／月曜～金曜日 9:00～17:30

※電力の需給状況によって受付時間を拡大される場合があります。



◆環境課

☎ 587 - 6003

FAX 587 - 3834

■ 節電・電力需給・計画停電に関する情報は…

▽政府の節電ポータルサイト「節電.go.jp」

<http://www.setsuden.go.jp>

▽経済産業省ホームページ

<http://www.meti.go.jp/setsuden/index.html>

▽関西電力ホームページ

<http://www.kepco.co.jp/>

■ 「需給ひっ迫お知らせサービス」への登録を

万一、電力需給のひっ迫が予想される場合に、携帯電話・スマートフォンにお知らせします。登録をお願いします。

携帯電話…右の QR コードまたは

<http://mail.setsuden.go.jp> にアクセス

スマートフォン…App Store または

Google Play にアクセスし“節電アクション”で検索



市では、環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」の協力で市役所などの公共施設で、省エネを目的に緑のカーテンを実施しています。この取り組みも、年を重ねるごとに、ご家庭や地域、PTA などのみなさんのご協力により定着してきています。



毎月第4土曜は 廃食油回収の日

8月25日(土) 午前10時～正午

回収会場…市役所別館横電話ボックス付近

回収物…廃食油、牛乳パック、アルミ缶

環境課 ☎ 587 - 6003、エコロジーマー

ケットやすの会・増村 ☎ 586 - 1441

「家棟川ビオトープ自然観察会」

魚の観察と野草を天ぷらにして食べてみよう！

夏休みの自由研究にもいかしてください！

日時…8月26日(日)午前9時～正午※小雨決行

会場…家棟川ビオトープ（野田、家棟川河口北側）※現地集合

参加費…200円（保険・資料代）※小学生以上

その他…参加の可否とともに、参加者には持ち物などの詳細を連絡します。先着30名。

申し込み・問い合わせ…8月17日(金)午後5時までに住所、氏名、年齢、連絡先を電話・ファクスのいずれかで環境課 ☎ 587 - 6003、FAX 587 - 3834

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(95)

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

【休館日】 月曜日 ※市民は入館無料

◆夏期企画展・昭和の大発見 50 年「大岩山銅鐸と近江」／9 月 2 日(日)まで

記念講演「研究史に輝く大岩山の銅鐸たち」8 月 11 日(土)午後 2 時～4 時／講師…水野正好さん(奈良大学名誉教授)

◆第 4 回弥生の森写真展・ふおれすとフォトギャラリー／9 月 2 日(日)まで

※展示作品募集中

大岩山出土の銅鐸 2

—昭和の発見—

明治 14 (1881) 年に小

た。

篠原の大岩山で弥生時代後期の銅鐸が発見されてから 81 年後の昭和 37 (1962) 年 7 月に 9 個の銅鐸が見つかりました。大岩山の地が東海道新幹線の土砂採取場だったことから、工事関係者が作業中に銅鐸を見つけたことが発端で、明治の発見場所からほど近いところでの出土でした。

銅鐸の発見後、京都大学名誉教授の梅原未治氏と滋賀県教育委員会の水野正好氏が発見現場の確認調査を行っています。また、大津市駐屯の自衛隊に要請して、現地で金属探知機を使って銅鐸破片の回収がなされ、15 片を回収することができました。

翌 8 月にはさらに銅鐸 1 個の発見届が警察にあり、合わせて 10 個の銅鐸が発見されました。

出土した銅鐸 10 個は、高さ 45・8 ～ 80・9 cm、重さ 3・75 ～ 14・27 kg をはかります。これらの銅鐸は、大型銅鐸、

中型銅鐸、小型銅鐸の 3 個が入れ子になって 3 組、合わせて 9 個がヒレ(体部側面)の部分を上に向けて、まとまって出土していました。

大岩山から出土した銅鐸 24 個は、行方不明の 2 個を除く 21 個が袈裟襷紋(僧侶が着用する袈裟の文様に由来)で、1 個が流水紋です。袈裟襷紋銅鐸は、外面の縦帯と横帯で画面が 6 区画に分割されています。このうち体部側面や上部に飾耳を持つ銅鐸(14 個)と体部側面だけに飾耳を持つ銅鐸(4 個)と飾耳を全く持たない銅鐸(3 個)があります。

部(遠江)に多く出土しており、三遠式銅鐸と言います。飾耳を全く持たない銅鐸は、やや古いタイプの銅鐸で大福型銅鐸と言われ、近江南部や奈良県から主に出土しています。大岩山からは近畿式銅鐸と三遠式銅鐸が見られ、年代的にやや隔たりのある大福型銅鐸が共存することが特筆すべきことです。

に埋められたまま放置されたとするなど、銅鐸埋納については諸説ありますが、埋納に関する銅鐸の謎は尽きません。

銅鐸は、弥生時代の集落から離れた丘陵斜面で見つかることがあります。守山市出身の神話学者三品彰英は、銅鐸に農耕祭祀にかかわる大地の霊、穀物の霊が宿ると考え、土中にある銅鐸を掘り出して大地の霊、穀物の霊を迎え、祭祀が終わると土中に埋め戻すとした。ところが、古墳時代に至ると祭祀の形態が変わったために、銅鐸は土中

今回の博物館夏期企画展は、昭和の大発見 50 年「大岩山銅鐸と近江」と題して、9 月 2 日(日)まで開催しています。8 月 11 日(土)午後 2 時から、記念講演会として、昭和の銅鐸発見に立ち会われた水野正好氏にご講演をいただきます。ご来館をお待ちしています。

(博物館学芸員 徳網克己)



昭和 37 年発見の近畿式銅鐸



昭和 37 年発見の三遠式銅鐸